

平成28年度 事業計画

I 基本方針

上田市地域振興事業団は、地域住民の福祉の増進を図るため、地方公共団体等が設置する公共施設の受託管理等を行い、地域社会の発展と活力に寄与する目的を達成するため、事業活動を行ってまいります。

施設の受託管理にあたりましては、安全・安心な施設管理の徹底を図るとともに、上田市の施策として掲げられている「健（康）幸（福）都市」の実現に貢献できるよう、健康増進に資する事業の実施に力をそそいでまいります。

また、現在NHKにて放送されている大河ドラマ「真田丸」の放送に合わせ、「大河ドラマ『真田丸』推進協議会」等と一体となり、千載一遇のチャンスを逃すことなく、利用者増及び収入増を図るとともに「おもてなしの心」をもって利用者の立場に立ったサービスを提供し、リピーターの確保に努め、事業活動の活性化と地域社会の活性化を図り、地域振興にもつなげてまいります。

II 主な事業

1 公共施設の指定管理業務

- | | |
|-------------------------|------------|
| (1) 農林漁業体験実習館 | (上田市) |
| (2) ふれあいさなだ館 | (上田市) |
| (3) うつくしの湯 | (上田市) |
| (4) 鹿月荘 | (上田市) |
| (5) 雲溪荘 | (上田市) |
| (6) 練馬区立武石少年自然の家（本館・新館） | (練馬区) |
| (7) 鹿教湯健康センター | (上田市) |
| (8) 武石森林公園マレットゴルフ場 | (上田市) |
| (9) 巢栗溪谷緑の広場 | (上田市) |
| (10) 番所ヶ原スキー場 | (上田市) |
| (11) 技術研修センター | (上田市) |
| (12) 上田創造館 | (上田地域広域連合) |

2 受託業務

- | | |
|-------------------------------|-----------------|
| (1) 地域情報化業務（マルチメディア情報センター） | (上田市) |
| (2) ネットワーク管理業務（マルチメディア情報センター） | (上田市等) |
| (3) 行政情報処理業務 | (上田市・上田地域広域連合等) |

III 施設別の主な事業

1 温泉施設管理事業

(1) 農林漁業体験実習館（室賀温泉ささらの湯）

当館は、平成9年の開館以来19年を迎え、山間の緑豊かな静けさの中、温泉資源を活用した農村と都市との交流拠点の場とし、温泉は、地下1,500mからの天然温泉100%で、泉質は肌がしっとりスベスベする「三美の湯」として好評を博しております。本年度は、NHK大河ドラマ「真田丸」効果を期待し、観光客を誘致し利用者増に努めるとともに利用者目線に立った施設を目指し、健全な運営を行ってまいります。

- ① 良質な泉質の特徴を活かした宣伝活動を行い、市内の集客施設への定期的なパンフレットの設置や広い範囲での新聞・雑誌等の広告掲載を行い、「三美の湯」の更なる周知を図ってまいります。
また、農産物直売所・ささら亭などと連携したイベントを提案し、相乗効果による利用者増に努めてまいります。
- ② 地域の皆様の御協力をいただき開催している定例イベント行事（ほたる祭、夏祭、温泉祭等：年間7回）や、ギャラリーサロン、芝生広場においては、団体や個人の方に作品や発表の場を提供し、地域とお客様に密着した「愛される施設」になるよう努めてまいります。
- ③ 施設内外の環境整備・補修・維持管理に努めてまいります。また、源泉の量や湯質、衛生管理に細心の注意を払うとともに、日頃から、不測の事態に対し迅速に対応できる体制づくりに努めてまいります。

(2) ふれあいさなだ館

当館は、平成5年の開館以来23年を迎え、設備関係の不具合箇所が多く見られるため、市の所管課と調整を図り順次修繕等、整備を進めている現状であります。引き続き源泉管理、設備の保守等を適正に実施し、運営上支障をきたすことのないよう管理運営に努めてまいります。
また、現在放送されているNHK大河ドラマ「真田丸」の、この上ないビジネスチャンスを活かし、観光客のお休み処（食事・土産）として対応できるよう努めてまいります。

- ① 上田市の施策である「健（康）幸（福）都市」の実現に寄与できるよう昨年に引き続き、プール・トレーニングルームの利用促進を図ってまいります。また、高齢化する会員の健康維持の一助となるため、プールとトレーニングルームの利用方法の周知を図るとともに、利用しやすい環境を整え、加えて若年層の利用促進にも努めてまいります。
- ② 職員の情報の共有化と接遇の向上を図り、「真田丸」放送開始により増加しつつある観光客に、真田氏関連史跡巡りの案内や、市内観光及び当事業団他施設の情報等を積極的に発信し、さなだ館を訪れた観光客がリピーターとなって再来館していただけるよう努めてまいります。
- ③ 食堂運営につきましては、昨年に引き続き「戦国陶板焼き真田夢御膳」のPRと活用を存分に行い、観光バス等により来館する団体客の受け入れを積極的に進めるとともに、お昼の会食やカラオケパック、更には、夜の宴会等の周知も図り、リピーターが満足できるような「食事処」としての充実を図ってまいります。
- ④ 売店運営につきましては、昨年度以上に真田氏関連のグッズ、地元野菜や果樹の充実を図ってまいります。「真田氏発祥の地」と云う地域性と、季節感を感じていただけるような商品構成や、レイアウトを活かすディスプレイにも力を入れ、売上増に繋げてまいります。

- ⑤ 昨年度設置された「福祉風呂」の適正かつ有効な運用に努め、障がい者に優しい施設となるよう、努めてまいります。

(3) うつくしの湯

当館は、平成11年の開館以来17年を迎え、引き続き、自然の恵みである温泉を活用し、地域の皆様に保養の場を提供してまいります。また、健康・福祉の増進を図ることを目標に、地域に根ざしたよりよい施設となるよう、徹底した衛生管理とサービスの向上に努め、利用者増につなげてまいります。

- ① 市民参加型の各種イベント（マレットゴルフ支配人杯、夏祭り、忘年会）等を毎月1回程度企画・実施するとともに、施設の広告宣伝等を積極的に行い、利用者増を図ってまいります。
- ② 食堂運営では、地産地消の推進として武石産の新鮮な野菜等を使い、イベント等の開催に併せ、四季の食材を十分に活用した料理を提供してまいります。
また、隣接の森林公園マレットゴルフ場との連携を図るマレットゴルフパックや、各種宴会プラン等を積極的にPRし、収益とリピーターの確保に繋げてまいります。
- ③ 売店運営では、地元福祉会からのパンやクッキーなどを取り扱い、上田市の障がい者施策に積極的に協力してまいります。また、武石産の花き・そば・山菜等の特産物や加工品及び上田市の特産品を販売することにより、地産地消の活性化を図るとともに、四季折々の野菜等を扱い、魅力ある売店づくりに努めてまいります。
- ④ 施設管理では、経年による施設・設備の不具合が生じていることから、計画的に営繕工事等を行い「安全・安心」な施設運営に努めてまいります。
また、衛生面につきましては、年1回の配管洗浄を行うとともに、日々の衛生管理にも細心の注意を払い、事故防止に努めてまいります。

2 宿泊施設管理事業

(1) 鹿月荘

当館は、昭和63年の開館以来28年を迎え、地域の皆様へ隣接する「鹿教湯健康センター（クアハウスかけゆ）」とリンクした温泉施設利用による健康増進に努め、併せて利用者へのきめ細やかなサービスの提供を目標に運営を行っております。今年度は、泉質の優れた国民温泉保養地「鹿教湯温泉」の魅力と「真田丸」効果を活用した情報発信を行い、利用促進に取り組んでまいります。

- ① 「真田丸」効果に乗じたDMキャンペーンを展開することにより、しばらく利用の無いお客様の発掘を促進し、併せてリピーターの利用確保を図りながら、利用者数増に向けて取り組んでまいります。
- ② 通常より廉価で健康に配慮した宴会・食事プランを充実するとともに、隣接するクアハウスの健康プログラムを併せた合同プランを企画し、両施設の相乗効果による認知度アップと利用促進に努めてまいります。
- ③ 食事及び宴会に大変好評なテーブル・椅子のセットを更に増設し、高齢者等の利便性向上に配慮した取組みを行ってまいります。
- ④ ホームページ「たび寅」の取組みから2年余が経過することから、プランや料理内容及び金額設定等の見直しを図り、更に利用しやすい魅力あるサービスを提供できるよう取り組みます。

(2) 雲溪荘

当館は、昭和52年の開館以来39年を迎え、春の桜街道、緑の溪谷、秋の紅葉と溪谷沿いの1軒宿として、宿泊客のみならず各種会合・法事等、上田市をはじめとする県内外の広い客層に御利用いただいております。

また、近年はインターネットを介しての利用客や練馬区指定保養施設制度を利用された練馬区民の利用客などがリピーター客として定着してきております。

今年度は、さらに全職員が利用者目線に立ったサービスに重点を置き、経費削減に努め、より効率的な運営を行ってまいります。

- ① 練馬区指定保養施設として練馬区民に向けて、「真田丸」「県内御柱祭」を積極的にPRし、観光目的の利用客をターゲットに誘客を図ります。また、インターネット予約サイト（じゃらんネット・たび寅ネット）へ「真田丸プラン」を設け、集客に努めてまいります。
- ② 食事の提供につきましては、武石産食材を多く取り入れたメニュー（春の山菜・夏野菜・秋の松茸・冬のぶち入れ鍋等）を再考案し、地産地消と「お客様に満足して頂ける料理」の提供に努めてまいります。
- ③ 売店部門につきましては、「真田丸」関連商品を中心に武石産乾燥きのこ（おおひら茸・シメジ）をはじめ、武石産はちみつ等の商品販売を強化し、売り上げ増を目指してまいります。
- ④ 施設の老朽化による修繕が多く発生し、ハード面での問題点が多い現状のため、市所管課と協議しながら、運営に支障をきたすことのないように、施設管理を徹底してまいります。
当施設の安定かつ継続的な運営に向け、経費節減に努めるとともに、事業団他施設との連携による新規顧客の開拓など、更なる集客に努めてまいります。

3 練馬区施設管理事業

(1) 練馬区立武石少年自然の家

当施設は、本館が昭和55年の開館以来36年を迎え、新館は、平成6年の開館以来21年となる東京都練馬区からの指定管理施設です。武石の優れた自然環境の中で集団生活を通じ、明日を担う少年の豊かな情操と自立・協同の精神を養い、創意と活力あふれる人間形成を図るとともに、練馬区民の健全な余暇利用を推進することを目標として管理運営しております。

本年度から新たに5年間、指定管理者として練馬区より当事業団が選定されました。これまでに以上に利用者の安全・安心を第一に考え、施設の管理運営を行ってまいります。

また、年々練馬区民の利用者が減少している中で、新しいイベントの企画や、閑散期における練馬区民以外にも多く利用して頂くため、キャンペーン等の実施など、積極的に誘客を図ってまいります。

<本館>

- ① 学校・公用事業における利用者が、楽しく御利用いただくため、平成27年度の練馬区の指定管理者評価結果を踏まえ、利用者の安全・安心を第一に考え、施設の管理運営を行ってまいります。
また、学校事業においては、施設で行える体験学習を新規提案してまいります。
食事提供につきましては、学校はもちろんのこと、一般の食事提供にも武石の地元産の食材を今以上に取り入れたメニューを作成し、提供してまいります。
- ② 閑散期対策としましては、大変好評である「上田市民キャンペーン」の対象エリア拡大等を練馬区に働きかけ、今まで以上の利用者増に努めてまいります。

- ③ 更には「家族で楽しめるイベント」の実施に努め、大人の方には信州ワインとチーズのレクチャーを行い、子供には、外部講師を招き「水彩技法体験」や「絵本を楽しむ」等のイベントを実施し、集客増に努めてまいります。

<新 館>

- ① 練馬区との直通バス運行事業の廃止に伴い、車でお越しになれない高齢者の平日利用者が減少傾向にあるため、利用者の利便性を考え、上田駅への送迎バスを毎日運行します。
また、そのお客様を対象に、観光案内事業を月に1・2回程度行い、車の無いお客様の満足度を向上させてまいります。更には、練馬区の旅行業者とタイアップしたバスツアーを計画し、利用者増に努めてまいります。
- ② 平日の利用者確保のため、女性を対象としたランチコースやメニューセットなどの平日限定「レディースプラン」などを企画し、誘客に努めます。
また、好評をいただいている「季節ごとのイベント」や「夜空の観望会とロビーコンサート」も継続して行ってまいります。
- ③ 新たな指定管理期間に合わせ、一部のリース物件が更新となります。これを機に、寝具類については、一般的な旅館では使用しない低反発の敷布団と枕に切り替え、利用者の満足度を上げるとともに、リピート率の向上につなげてまいります。また、4台あるマッサージチェアの内2台がリース期間満了となりますが、残りの2台（練馬区備品）は、15年前の古いタイプのため、4台とも新規入れ替えを行い、サービス向上を図ってまいります。

4 情報業務等事業

(1) マルチメディア情報センター

当館は、平成7年の開館以来21年を迎え、これまで一貫して上田市の地域情報化業務と学校間ネットワーク機器管理業務を受託し取り組んでおります。

この受託業務を基に「第二次上田市情報化基本計画」に沿った、地域情報化を推進する拠点施設として、市民ニーズを的確に捉えた事業を実施してまいります。

また、次代を担う児童生徒に対する情報モラルや情報活用能力の向上を図るため、学校教育の情報化を支援するとともに、ネットワークセンターとしての役割を果たしてまいります。

<地域情報化事業>

- ① 情報化社会に対応できる「人材の育成」を目的に、ワード、エクセルなどのオフィスソフトの研修や、市民からのパソコンなどの利用に関する相談事業、インターネット・携帯電話の安全な使い方を指導する出前講座等を行うことで、市民のICT（Information Communication Technology）活用の底上げに繋げてまいります。
- ② 高度な技術者養成を図るため、フォトショップ、イラストレーターなどのデザインソフトの研修を行い、デザイン技術の向上を図ってまいります。
- ③ 様々な科学分野の講師を招く「サイエンスカフェ」事業の強化と充実に努め20代から40代の利用者の増加を図ります。
- ④ 地域個性の情報発信事業として、上田地域の文化資産、観光資源などを収集・記録・保存し、これらを紹介するWebサイトの運営なども行い、大河ドラマ「真田丸」に合わせた、コンテンツの制作・活用を進めます。
- ⑤ 上田地域の情報化施設として、情報化に関する地域、企業、NPO、大学などとの連携を進めるネットワークセンターの役割や、アドバイスや情報提供などを行う情報技術の支援センターとしての役割を果たしてまいります。

<ネットワーク管理事業>

- ① 上田市学校間ネットワークや市内の博物館、美術館のホームページサーバの安定した管理運営を行ってまいります。
- ② 学校と同じシステムの導入、教材開発が可能な機材の設置などを進め、学校における情報教育の支援ができる体制づくりを進めてまいります。

(2) 行政情報処理センター

当センターは、平成24年の組織改革来5年を迎え、上田市及び図書館システムを利用している構成市町村に対し、これまで同様「安全・安心な電算処理システムの運用」が図られるよう業務を実施してまいります。

- ① 上田市総合電算運用管理事業につきましては、住民情報、税情報などの個別業務システムの運用のほか、庁舎間を結ぶ通信網を管理し、休日も含め年間を通じて正確なシステム運用と円滑な情報通信の確保と安全なネットワークの実現を図ってまいります。
- ② 上田地域公共図書館情報ネットワークシステム（エコール）管理運営事業につきましては、上田地域広域連合内の図書館ネットワークの維持管理業務とサポート業務を行い、図書館利用者の利便性の向上に努めてまいります。
- ③ 学校間ネットワーク総合管理・サポート事業につきましては、ネットワークの障害監視と障害復旧及びインストラクターの派遣によるパソコンのトラブル対応や相談等を実施し、情報機器の利用向上をサポートしてまいります。

5 日帰り施設管理事業

(1) 鹿教湯健康センター

当館は、昭和58年の開館以来33年を迎え、8種類の浴槽と25mプールを活用する温泉利用型健康増進施設として、隣接する「国民宿舎鹿月荘」とリンクしながら、市民の皆様の健康づくりに努めております。今年度も上田市の施策である「健（康）幸（福）都市」の実現に向け、市民の健康増進を図るため、きめ細やかな健康増進プログラムを提供するとともに、適正な管理運営を行ってまいります。

- ① 昨年度に引き続き、市内公民館活動や健康推進活動への有資格トレーナーを派遣し、「クアハウスかけゆ」のPRとともに、各種健康プログラムの情報発信を行い、市民の健康増進と利用者増に努めてまいります。
- ② 「クアハウスかけゆ」の健康プログラムと、隣接する「国民宿舎鹿月荘」の健康に配慮した食事プランを企画し、両施設の連携による利用促進を図り、市民の健康増進に寄与してまいります。
- ③ 職員研修を計画的に行い、トレーナーの指導技術の向上を図るとともに、利用者の視点に立った新規プログラムを企画し、上田市民を中心とした利用者の健康増進と、新規利用者の確保に繋げてまいります。

(2) 武石森林公園マレットゴルフ場

当施設は、平成7年の開設以来21年を迎え、豊かな自然環境のもと、地域の皆様に憩の場の提供と健康増進の場所として親しまれています。本年度は、隣接する武石温泉うつくしの湯と連携を図るとともに団体利用者等への送迎サービスを行い、利用者増を図ってまいります。

- ① 「上田市合併10周年」を冠に、5月・10月に「武石森林公園 MG 場支配人杯」を計画するとともに施設の積極的な広告宣伝を行い、リピーターの確保と新規利用者の発掘を図ります。
- ② 隣接する「うつくしの湯」との連携を強化し「マレットゴルフパック」の販促に努め、利用者の無料送迎等、利便性とサービスの向上に努めます。
また、地域における様々なイベント等において施設利用割引券の配布を行い、売上増とリピーター確保に繋げてまいります。
- ③ 利用者の安全確保のため、避難誘導訓練及び救急救命講習会を実施し、有事の際に適切な対応が行えるよう努めます。

(3) 巢栗溪谷緑の広場

当施設は、昭和53年に開所以来38年を迎え、食堂部門では昨年度より手打ちそば中心のメニューに変更したところ、1年目にしてリピーターが定着し、森のおいしい「おそば屋さん」として認知されてきました。

- ① 昨年度より「手打ちそば」に特化し、食数を限定して営業しておりますが、今年度は食数とメニュー数も昨年度より増やし、「おいしい蕎麦の店」としての周知と売上増を図ってまいります。
- ② 売店部門では、地元の方が作る民芸品の売り上げが伸びないことから、「お客様が今求めている物」をリサーチし、真田幸村関連商品と併せ販売の促進に努めてまいります。
- ③ キャンプ場・釣り堀部門では、巢栗溪谷の魅力をPRしながら、定着しつつあるイベント「森の遊び塾」を中心として集客に努めてまいります。
- ④ 昨年度手打ちそばに特化して1年目、となる中で未実施となっている「そば道場」を開催し、「手打ちそば」の魅力を広げてまいります。
- ⑤ 子供やファミリー向けの「森の遊び塾」に加え、大人が楽しめる「森の遊び塾」を開催し、キャンプ場周辺を利用したオリエンテーリングや釣り堀など「1日家族で遊べる空間」として、周知を図ってまいります。

(4) 番所ヶ原スキー場

当施設は、昭和55年に開所以来36年を迎え、ウィンタースポーツの施設として、利用に際しては快適さと安全を確保するとともに憩の場を提供すること、上田市の施策である「健（康）幸（福）都市」の実現に向け、健康促進の一助となるよう、スキー及びスノーボード利用人口の底上げと確保に努めてまいります。

また、食堂運営におけるレストハウスのメニューにつきましては、新メニューの創作に着手し、収入増に努めてまいります。

- ① 「安全第一・ケガ人0」をスキー場全体の安全目標とし、索道・ゲレンデの整備を充実させ安全・安心なスキー場運営に努めてまいります。

- ② スキー人口の増加を目指し、美ヶ原スキー学校に協力を頂きながら、ジュニアスキー教室の充実と定着したシニアスキー教室の更なる充実に協力し、利用者増を図ってまいります。
- ③ 食堂部門では、定着したメニューに加え、お客様からの要望があるメニューも前向きに検討し、新しいメニューの開発を行い、「食」からの集客・増収に努めます。
- ④ 「雪の遊び塾」を中心にしたイベントを行い、子供から大人まで番所ヶ原スキー場の知名度アップに努めます。

(5) 技術研修センター

当センターは、平成9年の開館以来19年を迎え、企業等が行う人材育成、異業種間交流、技術研修等の推進を図ることを目的として事業を行ってまいりました。

平成25年度にインターネット利用環境を整備し、ネットを利用した会議や研修が可能になりましたことから、企業・団体にPRをし、積極的に利用を呼びかけるとともに、今後も利用形態、利用状況等に応じた施設運営に努め、サービス向上と利用促進に結びつけてまいります。

- ① 平成22年度から宿泊棟における宿泊が原則中止になったため、現在は利用がない宿泊棟について、市と連携しながら新たな活用を進めてまいります。

(6) 上田創造館

上田創造館は、昭和61年の開館以来30年を迎え、上田広域の文化創造、コミュニケーション活動の中核施設として位置付けられ、児童科学館と地域のコミュニティ育成、芸術文化の振興、レクリエーション活動の拠点等となる複合施設です。近年では、17万人前後の大勢の利用者が訪れており、安全で安心して施設利用ができるよう、更なる接遇の向上と環境づくりに努め、利用者満足度の高い、適切な施設管理を行ってまいります。

- ① 本年度は、開館30周年の記念行事を計画し、より一層、地域に親しんでいただける施設として、また、楽しく学べる「地域の科学館」を目指してまいります。
- ② 施設の危機管理対策として、通報、消火、避難誘導訓練や普通救命講習を実施します。
- ③ アンケート等により「お客様の声」に耳を傾け、迅速な対応と利用しやすい窓口づくりを進め、サービスの向上に努めてまいります。
- ④ 定期的に施設の設備点検や環境整備を行い、利用者が快適に利用できるよう努めてまいります。

IV 法人管理

法人管理(総務企画課)では、効率的な法人運営と一体的な管理体制を図るため、平成26年度に事務局の一元化を行い、3年目を迎えます。

本年度は、更なる組織の一体感の醸成と施設利用の促進を図るため、情報の共有化や、組織としての人材育成、各種媒体による広報活動を進めてまいります。

- ① 施設長会議、組織ヒアリング、予算ヒアリングも実施するとともに、同事業所間会議や広報部会等も定期的を開催するなど、情報の交換と共有化、意思の統一化を進めてまいります。
- ② 「職員のスキルアップ」と「近い将来を見据えた人材育成」をテーマに、「接遇マナー・キャリア・コーチング研修」や、「情報セキュリティ研修」「自主研修助成制度」を継続して実施いたします。
- ③ 企画・販促面として、事業団の「総合パンフレット」と「事業団通信」により、地域の皆様をはじめ観光客等へ、催事・イベントの案内と事業団施設間での割安なセット販売を情報発信し、事業団全体での回遊化を図り、相乗効果を高めてまいります。
- ④ 本年度はNHK大河ドラマ「真田丸」放送の年であり、観光客が上田市に多く訪れるこのチャンスに、上田市のイベントへ積極的に参加と協力を行うとともに「着地型旅行」の提案等を行い、観光客の誘客と受入に努めてまいります。
- ⑤ 平成27年度末に「公益目的支出計画」に沿って、上田市へ1億8,457万円余を寄附したことで、年度当初における資金繰りとして運転資金を確保するとともに、収支にバランスの取れた経営と毎月末締めにて資産状況の把握を行い、堅実で健全な経営展開を図ってまいります。
- ⑥ 労働安全衛生法の改正により、事業団職員における健康管理の一環として、面接指導等を実施し、健康で快適な職場づくりに努めてまいります。